

文学研究科日本語学日本文学専攻・博士後期課程 専門分野・教員一覧

■教授

富永 一登	博士（文学） ※文学研究科長 兼 日本語学日本文学専攻長
主な担当科目	●漢文学特殊講義A・B ●日本文学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	中国古典文学、漢文学、特に『文選』（もんぜん）と古小説を中心に研究を進めている。『文選』では中国古典文学の表現の型を、古小説では古代人の想像力の根源を追究する。高校の漢文教材の編集にも取り組んでいる。

江口 泰生	博士（文学）
主な担当科目	●日本語発達史特殊講義A・B ●日本語学・国語教育学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	日本語の構造を明らかにし、それが歴史的にどのように展開したかを研究している。特に音韻と文法の境界領域である形態音韻論分野に力を注いでいる。外国資料（特にロシア資料）・古辞書・方言資料などを利用して、現象の発見と説明に取り組んでいる。

谷口 邦彦 ※	修士（芸術学）
主な担当科目	●国語教育学特殊講義A・B
研究内容	書写書道教育に関する実践的な研究、おもに、授業づくり・授業改善に関わる学習者研究を中心に行っている。中学校国語科書写教科書の編集にも携わっている。

外村 彰	博士（文学）
主な担当科目	●近代日本文学特殊講義A・B ●日本文学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	近代日本文学、とくに昭和十年代前後の詩歌・小説の精読をベースに、室生犀星や岡本かの子といった審美的文学の探究、埋もれた詩人の発掘、新たな評価付けを試みる地域文学研究、併せて当該領域の書誌・雑誌調査研究を行っている。

信廣 友江	博士(学術)
主な担当科目	●国語教育学特殊講義C・D ●日本語学・国語教育学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	書道教育学、とくに学制頒布以降現代に至るまでの書教育に関わる制度並びに学校教育における書道分野の位置づけ、趣旨、教育内容の変遷を中心とする歴史研究を行っている。

古瀬 雅義	博士（文学）
主な担当科目	●古代日本文学特殊講義A・B ●中世日本文学特殊講義A・B ●日本文学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	古代中世の日本古典文学を専門領域として研究している。特に『枕草子』『源氏物語』そして和歌について、章段・物語・和歌に用いられる表現と展開との関わりに注目して、考察を進めている。

宮岸 哲也	博士（言語文化学）
主な担当科目	●現代日本語特殊講義A・B ●日本語学・国語教育学特殊研究Ⅰ～Ⅵ
研究内容	言語類型論、対照言語学、日本語教育、特に授与動詞と授与補助動詞構文の類型論的研究、シンハラ語母語話者を対象にした日本語教育文法構築のための日本語とシンハラ語の対照研究、チベット・ビルマ語派ゾゾ語の記述研究を行っている。

※氏名横の「※」は研究指導の補助を示す。